

雲竜溪谷山行報告

【山 域】日光：雲竜溪谷

【コース】雲竜溪谷入口駐車場～稲荷川展望台～洞門岩～雲竜溪谷
雲竜溪谷～洞門岩～稲荷川展望台～雲竜溪谷入口駐車場

【日 時】H30年1月30日（火）～31日（水）

【天 候】31日晴れ 24日晴れ

【参加者】CL狩野（記録）、時田、石井、加藤、滝本

【山行タイム】

31日（水）雲竜溪谷入口駐車場8：30→稲荷川展望台9：30→洞門岩10：00→
雲竜溪谷10：50（氷瀑滝壺散策）→雲竜溪谷13：00→洞門岩13：30
→稲荷川展望台14：00→雲竜溪谷入口駐車場15：00

【山行報告】

1月30日（火曜日）21：00千葉駅集合

北口のロータリーは通勤帰りのお迎え車でかなり混んでいた。「やっぱり平日の夜は混んでるなー。」とか考えながら皆を待っていると21時前に全員集合。

先週の大雪の影響で首都高速の一部が未だに通行止めの部分があるようだ。

自分は東北道に行くにはどちらにしても東関道から圏央道を経由するルートが好きだ。

東関道から圏央道に入ると一気に車が減るが車線も減って途中一車線になってしまう。遅い車がいるとずーっと繋がってしまうが急ぐ旅でもないのも真つ暗な圏央道をのんびりと進んだ。

久喜から東北道に出ると3車線になり、車もガラガラなので快調に飛ばして0時前に宇都宮ICを出そうになってしまった。手前の大谷PAで深夜割引に気付き少し待機。0時過ぎに宇都宮ICを通過。30%

割引！これは大きい！危なく忘れて通過してしまう処だった。「安全で安く楽しい山行」ちば山

の理念？やっぱり安い方が良いね！日光有料道路には乗らず寝酒と明日の行動食を買い出してから日光有料道路に入り予定通り1時前には日光PAに到着。テントの設営も面倒なので車をフルフラットにして後ろの荷台に大型のエアーマットをひき5人が寝れるスペースを作り寝酒を飲んだ。（ビール・日本酒・泡盛）ちょっと買い過ぎて就寝は2時を過ぎてしまった。朝起きると数台の車が集合していた。「まさか！みんな雲竜溪谷？」嫌な予感がしたが後になって予感的中していたことに気付いた。

「雲竜溪谷の氷瀑は最近人気があり休日にはかなり混雑するらしい。」それを見込んで今回は平日山行としたのに油断してしまった……。ゆっくり朝食をとり8時過ぎに雲竜溪谷入口に到着。5台程度しか停められない駐車場はすでに満車！路中に車が駐車している・・・なんと日光PAにいた車も路駐している！雲竜溪谷の氷瀑を見に来るには平日でも夜のうちにここまで来て仮眠するしかないようだ。

なんとか入口から50mくらいの場所に駐車スペースを確保できた。余談だがこの道路ではかなり大型の工事車両が通行するので道路にはみ出て駐車しないよう注意が必要です。「マナーを守りましょう！」？路駐している自分も言えた玉ではないが・・・。



8時過ぎ準備完了！アイゼンを装着して出発した。路面は薄らと雪が付いている程度なのでチェーンアイゼンのほうが歩きやすい。

朝の気温はマイナス10℃、ちょっと寒いが天気が良くて少し歩くと汗が出てくる。インナーの調節をしながらクネクネ林道をひたすら登る。



雲竜溪谷に行く道はこの林道がポピュラーのようだが、入口に「工事関係者以外立ち入り禁止」の看板がある。以前来た時には工事の人もいたが、何の御咎めも無く逆に友好的に話しかけられたりした。川沿いの道もあるようだが途中道が無くなり引き返したことがあるので高巻きで面倒なようだが林道に行く方が無難である。

1時間程で展望台に到着。ちょ

っと手前で休憩をしてまだまだ続く林道を歩く。30分くらいの所に洞門岩の看板が出てくる。

ここから川沿いに下ると山道になるが、このまま林道を行っても雲竜溪谷



にたどり着く。今回は林道歩きも飽きたのでここから川沿いへ下る。



川沿いに下ると所々川が凍っており、トレースはハッキリしているが氷の上を探りながら歩く。トレースが有っても氷が割れる事もあるので注意しながら歩く。Tさんは川を飛び越えて片足を川にポチャン！してしまった。

川沿いを登ったり下ったりしているうちに遠くに大きい氷柱が見えてきた！

やっぱり雲竜溪谷の氷柱は圧巻だ！

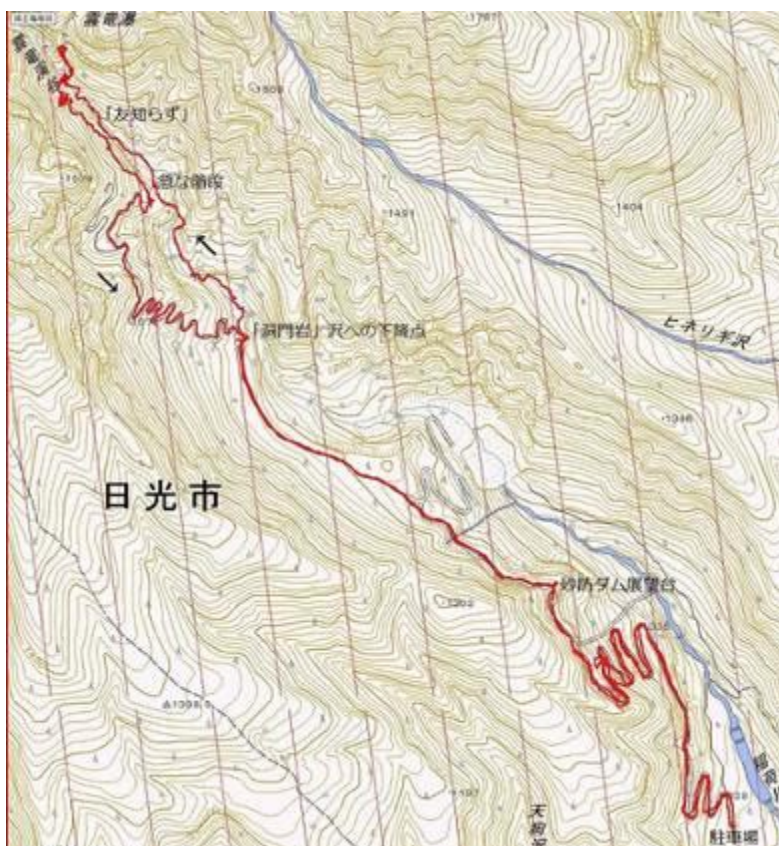
かなり近づいたところでいきなり前に見えていた氷柱が崩れ落ちてきた！すご迫力！つつうかやばい！崩れた氷柱の脇を歩いていたら遠くのほうから「そこ危ないよ！」っておばちゃんたちが騒いでいた。





天気が良すぎて氷柱がとけている感じでアイスクライミングをやっている人はいなかった。広々とした雲竜溪谷の中を皆思い思いに歩き回り氷瀑を堪能し、のんびりと昼食をとった。

少しだけアイスクリュウを刺してみたが、ちょっと柔らかい感じがした。
スラブ状になっている部分は氷も厚くアイスアックスを刺しても問題ない状態だった。



午後になり溪谷の中に
日差しが差さなくなる
と、急に寒さを感じる
ようになってきた。
早々に帰り仕度をして
下山を開始した。帰りは
林道を歩くことにした
が下山はずなのに
しばらく登りが続きな
んとなく遠回りをして
いるような気分だっ
た。次回来る人は行に
林道を利用した方が良
いだろう。



帰りはやしおの湯で汗を流し、美味しい舞茸天ぷらそばセットを食べて千葉へ帰葉した。